第13版

2023年度

（株）クボプラ　環境経営レポート

2023年1月1日～2023年12月31日

株式会社　クボプラ

発行：2024 年 4 月 10 日

１．組織の概要

（１）事業所及び代表者氏名

事業所名　　：株式会社クボプラ

代表者氏名　：代表取締役　久保　安宏

（２）所在地　：〒198－0052

東京都青梅市長渕 4-239-2

（３）環境管理責任者氏名　：　久保　巨京

連絡先ＴＥＬ：0428－24－5511　　ＦＡＸ：0428－24－4121

Ｅ－mail：kubo@kubopura.con

（４）事業概要：プラスチック加工業 (切削、熱曲げ、溶接、接着、その他)

（５）事業規模（2023 年 12 月現在）

・資本金　　：　2,000 万円

・従業員数　：　30 名

・敷地面積　：　666 ㎡

・床面積　　：　764 ㎡

2.環境経営方針

環境経営方針

基本理念

当社は奥多摩の雄大な山々に抱かれ、多摩川、蛍の舞う清流に臨む豊かな自然環境に在ります。地球環境の保全が人類に於ける重要課題のひとつであることを認識し、この美しい自然環境を守り調和し、地域社会と共存していく努力を行うことが企業としての社会的責任であると考え、環境に配慮した事業活動に積極的に取り組みます。

行動指針

1. 樹脂加工を中心とした事業活動の中で、環境の保全と汚染の防止に継続的に努める。
2. 環境関係法規制、条例、協定その他の要求事項を遵守する。
3. 在庫管理の徹底化と環境に優しい資材の調達及び効率的な利用に努め、廃棄物の削減と省資源化を推進する。
4. 製造工程の効率化を図り、全社一体となって省エネルギーに努める。
5. 廃棄物と再生可能品との分別を徹底し、資源の有効活用、リサイクルに取り組む。
6. 環境への取り組みを環境経営レポートとして取りまとめ公表します。

2023 年 1 月 23 日
株式会社クボプラ

代表取締役

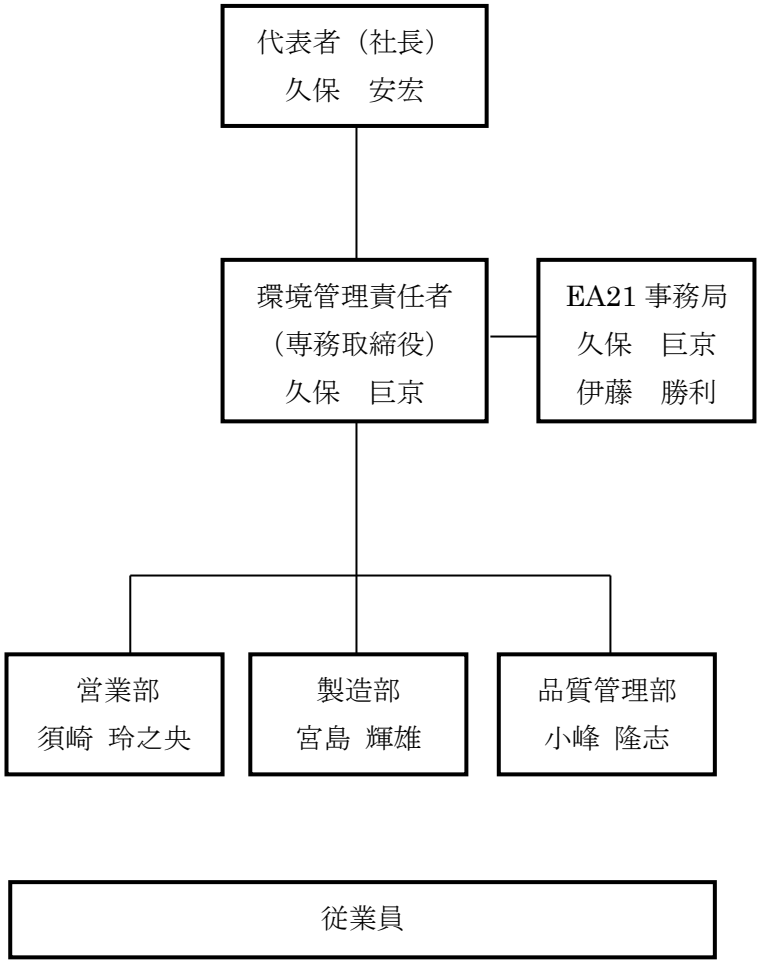
久保　安宏

3. 実施体制

【制定日】　2011 年 6 月 28 日
【改訂日】　2023 年 6 月 5 日

環境経営推進体制

代表者	環境管理責任者
久保　安宏	久保　巨京



- 代表者による経営における課題とチャンスの取りまとめ
- 環境経営方針の策定、改正
- システムの評価と見直し
- 環境管理責任者の任命
- 経営資源の投入

- 全体計画の立案及び評価
- 環境関連文書作成
- 環境管理推進
- 進捗フォロー
- 指示・伝達・意見聴取
- 環境教育推進
- 苦情・要望の渉外

- 活動計画の実行推進
- 情報伝達
- 環境意識の向上
- 改善提案の発掘推進

- 環境経営方針の理解と環境へ取組の重要性の理解
- 決められた事を守り、自主的、積極的に環境活動への参加

4. 過去３年間の実績

	2020 年度	2021 年度	2022 年度
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	73451	82274	94608
電力使用量(kwh)	143760	165283	196544
ガソリン使用料(ℓ)	3361	2919	2110
総排水量(㎥)	263	257	303
産業廃棄物排出量(t)	10.21(t)	13.57(t)	20.12(t)

㈱クボプラ 環境経営目標

2024 年 4 月 4 日

代表者	環境管理責任使者
久保　安宏	久保　巨京

大項目	項目名	2023 度	2024 度	2025 度
【1】 二酸化炭素削減	二酸化炭素排出量削減	2022 年度実績に対し、1%削減	2023 年度実績に対し、1%削減	2024 年度実績に対し、1%削減
	① 電力使用量の削減	2022 年度実績に対し、1%削減	2023 年度実績に対し、1%削減	2024 年度実績に対し、1%削減
	②ガソリン使用量の削減	2021 年度実績に対し、1%削減	2021 年度実績に対し、2%削減	2024 年度実績に対し、2%削減
【2】 廃棄物削減	①産業廃棄物（廃プラスチック）の削減	2022 年度実績に対し、1%削減	2023 年度実績に対し、1%削減	2024 年度実績に対し、1%削減
【3】 節　水	水使用量の削減	2022 年度実績に対し、1%削減	2023 年度実績に対し、1%削減	2024 年度実績に対し、1%削減
【4】 化学物質管理	樹脂接着用溶剤 (微量)	適正管理		
【5】 ｸﾞﾘｰﾝ購入	文房具類 (事務用品)	エコマーク品を優先的に購入		

5. 2023 年度の環境経営計画（具体的取組内容）

<table>
<tr><th></th><th colspan="2">項目</th><th>活動計画　－具体施策－</th></tr>
<tr><td rowspan="4">削減項目</td><td rowspan="2">二酸化炭素排出量</td><td>1.電力使用量の削減</td><td>①昼間不用時の消灯、電源 OFF
②PC のスリープモード設定
③空調温度の適温化（冷房：28℃/暖房：20℃）</td></tr>
<tr><td>2.ガソリン使用量の削減</td><td>①制限速度の厳守
②アイドリングストップ
③タイヤ空気圧の適正化
④納品運搬経路の効率化</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物（廃プラスチック）の削減</td><td>①マニフェストをもとに適正処理
②廃プラスチックのリサイクル化
③不良率の低減</td></tr>
<tr><td colspan="2">節水</td><td>①節水呼びかけ
①　水道配管からの漏水の定期点検</td></tr>
</table>

6. 環境数値目標の実績（2023 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日の活動結果）

	項目	単位	基準年度 2022 年 (1～12 月)	2023 年度 (1～12 月) 目標	2023 年度 (1～12 月) 実績	達成 状況
削減項目	二酸化炭素排出量	kg-CO_2	94608	93661	112072	△
	電力使用量	kwh	196544	194579	235779	△
	ガソリン使用量	ℓ	2111	2090	2308	△
	産業廃棄物排出量	t	20.12	19.92	17.69	○
	総排水量	㎥	303	300	240	○
管理項目	化学物質管理	適正管理				○
	グーリン購入	文房具類はエコマーク品を優先的に購入				○

（注記）購入電力の二酸化炭素排出係数は下記 2 社の数値を採用とした。

青梅ガス㈱：0.453 kg-CO_2／kwh

東京電力エナジーパートナー㈱：0.441 kg-CO_2／kwh

7. 環境経営計画の取組み結果とその評価、次年度の取組み内容

7.1 環境経営計画の取組み結果と評価

	項目	環境活動結果の評価
削減項目	二酸化炭素排出量の削減	主に電力使用量の増加が影響し、削減目標値に届かず。
	電力使用量	生産設備の増設等により使用量は増加。 次年度も生産設備の増設を予定しており電力使用量は増加する傾向にあるが、使用年数の長い設備を高効率仕様へ交換する等、引き続き環境負荷低減につながる事を検討していく。
	ガソリン使用量	コロナ禍収束により車での移動が以前に戻り、使用量は増えたものの年間平均燃費は向上。
	産業廃棄物排出量の削減（廃プラスチック）	今年度の目標を達成
	節水	今年度の目標を達成
管理項目	化学物質管理	適正管理
	グーリン購入	文房具類はエコマーク品を優先的に購入

6.2 次年度の取組み内容

EA21 環境経営システムは基本的に次年度も当初の計画に基づき実施する。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認および評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に関わる環境関連法規等の遵守評価の結果、違反はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去３年間有りません。

	法規制等名称	義務事項	遵守評価
1	廃棄物処理法	一般廃棄物 ・市の分別回収に従う	違反無し
		産業廃棄物 ・産業廃棄物置場の保管基準の順守 ・産業廃棄物の委託契約の締結 ・産業廃棄物マニフェストを収集運搬／処分委託業者へ交付し回収する ・マニフェストの前年度交付状況の報告	違反無し
2	資源有効利用促進法	・使用済み PC の販売事業者への引き渡し	対象案件なし
3	家電ﾘｻｲｸﾙ法	・買替、廃棄等業者引渡し時ﾘｻｲｸﾙ料の支払	違反無し
4	フロン排出抑制法	・管理第 1 種特定製品の点検（簡易点検、定期点検）（法 16 条）	違反無し

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

代表者（社長）による見直しの内容	
1)環境経営方針	現環境方針で進める
2)環境経営目標及び計画	環境経営計画を基に、基準年度実績に対して削減目標達成を目指す。
3)社会・取引先・法律等への対応	外部からの要請もないことから現状のまま対応する
4)システムのその他の要素	前年度構築したEA21環境経営システムを現状のまま運用する

以上